

神奈川県における死亡の状況について

神奈川県悪性新生物登録事業においては、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 33 条第 1 項の規定に基づく利用申請と厚生労働大臣の許可のもと、人口動態調査票情報（死亡小票）を収集し、死亡情報の登録を行っている。

地域：神奈川県全域

死亡小票において利用する調査項目：死亡日、死因、死亡したところの種別、死因の種類

	届出と照合できた 死亡票+死亡票のみ A	直接死因が がん C	直接死因が がん以外 NC
2019年	42,873	30,549	12,324
2020年	44,176	31,237	12,939
2021年	46,223	31,773	14,450
2022年	48,335	32,055	16,280
2023年	49,629	32,937	16,692

2019年～2023年の5年間に収集した死亡小票について、死亡票に基づく情報の入力総数（地域がん登録システムに登録された届出票と照合できた死亡票+死亡票のみ）※をAとし、Aのうち、直接死因にがんの記載がある死亡（C）、直接死因にがん以外の

の病名の記載がある死亡（NC）とを区分して集計した（単位：人）。

※死亡票採録の全数は表 2 死亡票採録件数（p16）を参照されたい。

本集計では、直接死因に ICD-10 の C00-C97 悪性新生物、D00-D09 上皮内がん、D32-D33 脳腫瘍（良性）、D42-D43 脳腫瘍（性状不詳）、D45-D47 血液のがん、D48 結合組織のがんの記載があった場合を「がんによる死亡」とし計上している。

地域がん登録の手引きに定める、死亡票のうちいずれかの項目（手術や備考欄を含む）に「がん」が含まれる「がん死」ではなく、直接死因ががんの場合のみを集計している点に注意されたい。

なお、2017年死亡からは厚生統計（人口動態調査統計情報）の原死因コード（ICD-10 準拠）における死因情報を反映している。これによりコーディングの恣意性が改善された。

次の表では、各々の死亡場所（死亡したところの種別）について、死亡票に基づく情報の入力総数「地域がん登録システムに登録された届出票と照合できた死亡票+死亡票のみ」に占める割合を示す。

死亡したところの種別：病院、診療所、介護老人保健施設、老人ホーム、自宅、その他

死亡したところの種別：病院、診療所、介護老人保健施設、老人ホーム、自宅、その他

	病院	診療所	老健	老人ホーム	自宅	その他
2019年	72.1	0.6	1.1	6.8	18.5	0.8
2020年	65.3	0.6	1.0	8.6	23.2	1.2
2021年	59.8	0.5	1.4	10.7	26.3	1.3
2022年	57.8	0.6	1.5	12.9	25.8	1.4
2023年	58.1	0.5	1.4	14.6	24.4	1.5

単位 (%)

死亡票に基づく情報の入力総数の推移と死亡場所の内訳

